

平成28年度事業報告

平成28年度は以下の行動計画に基づき事業を行った。

平成28年度行動計画（主要事業）

本協議会の設立趣旨に基づき、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に加盟大学が連携・協力して取組み、福祉系大学に寄せられている社会的要請に応えていくよう、次の行動計画に基づき活動を行う。

1. 社会的発信力の向上

- 1) 福祉系大学をとりまく厳しい環境をふまえ、関係大学が連携して課題に取り組むために、引き続き本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に取り組む。【総務企画委員会】
- 2) 高校生の「福祉」離れや福祉人材確保の深刻な状況を改善するためにも、社会福祉士を始めとする福祉職の地位向上に関わる問題や福祉人材養成課題等について、福祉・教育・労働分野を中心とした関係団体・省庁等と積極的に意見交換を行う。あわせて、関係諸団体と連携して社会的にインパクトを持つ取組みについて検討をすすめる。【総務企画委員会】
- 3) 協賛する「ソーシャルワーカーデー中央集会」を中心に、各地域や各大学においてもソーシャルワーカーの認知度及び地位向上の取組みについて、連携を強める。(総務企画委員会)

2. 学生募集課題についての取組みの推進

- 1) 要望に基づき「事務局勉強会」のテーマにも掲げて勉強会を実施する。【総務企画委員会】(実施済み)平成28年5月31日「福祉系大学における学生募集戦略について～福祉系学部離れの高校生をどうふり向かせるのか」(14大学31名出席)
- 2) 社会福祉分野の志願者動向の最新情報を基に、今後の募集戦略、入学者確保の方策について、各大学間で意見交換会を実施する。福祉領域における高大連携の可能性についても考察する。【就職・学生募集委員会】
- 3) これからの福祉を担う意欲のある受験生の獲得のためにも「社会福祉を学ぶ魅力」や「社会福祉の仕事の魅力」等について具体的にアピールできるコンテンツの開発に取り組むPJを新たに立上げる。開発にあたっては、会員校の学生募集活動にも活用できるものとなるよう、教員・職員が一致して取り組む。【総務企画委員会】

3. 国家試験のあり方や養成課程のあり方等に対する検討の推進

- 1) 社会福祉専門職養成を巡る動向を踏まえながら、養成課程のあり方や国家試験のあり方に関する関係方面への意見提出、社会福祉専門職養成教育の充実、認定社会福祉士制度への対応等に取り組む。【研究活動・教育向上委員会】

4. 大規模災害時の取組みの発信及び検討の推進

- 1) 平成23年度から平成27年度にかけて実施した「ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト」の成果を広く発信するためにも書籍を出版する。出版に対して助成を行うとともに、会員校での活用について検討をすすめる。また、このプロジェクトの成果を会員校同士さらに共有し、社会的に発信していくためにも、最終年度として語り部活動に取り組む、報告会も実施する。【復興支援委員会】
- 2) 復興支援委員会で実施してきた「ソーシャルワーカー声PJ」の事業終了を受けて、大規模災害時における福祉専門職の役割や大規模災害時に福祉系大学が地域において果たす役割等に関する次のPJの具体化に向けて、熊本地震における熊本学園大学の経験に学び、検討をすすめる。【総務企画委員会】

以上

1. 総会の開催

1) 平成 28 年度第 1 回福祉系大学経営者協議会

総会・講演会

○ 日 時 平成 28 年度 7 月 1 日 (金)

〈講演会〉 13:00～14:00

〈総会〉 14:00～15:30

〈意見交換会〉 15:45～17:00

○ 場 所 東海キャンパス

○ 内 容 【第 I 部】

■講演 (13:00～14:00)

『社会保障・税一体改革のこれまでとこれから』

社会保障制度改革推進会議委員

神奈川県立保健福祉大学名誉教授 山崎 泰彦氏

【第 II 部】 (14:00～15:30)

■総会

議事案件

I. 新規加盟校ご紹介

II. 熊本地震における対応状況等について

III. 平成 27 年度事業報告および決算について

IV. 平成 28 年度行動計画 (案) について

1) 平成 28 年度行動計画 (主要事業)

2) 総務・企画委員会

3) 研究活動・教育向上委員会

4) 就職・学生募集委員会

5) 復興支援委員会

V. 平成 28 年度予算 (案) について

VI. 3 団体統合について

VII. ソ教連・新福祉ビジョン特別委員会「中間報告」について

VIII. その他

1) 会員校調査結果一覧

2) 2016 年度鉄道弘済会奨学生選考結果

3) 2016 年度福祉系大学経営者協議会名簿 (確認)

4) その他案件

【第 III 部】 (15:45～17:00)

■意見交換会

○ 出席等 21 大学 32 名

2) 平成 28 年度第 2 回福祉系大学経営者協議会

総会・講演会

○ 日 時 平成 29 年度 1 月 21 日 (土)

〈勉強会〉 14:00～15:00

〈総会〉 15:00～17:30

○ 場 所 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 6 階「阿蘇」

○ 内 容 【第 I 部】

■勉強会 (14:00～15:00)

『今後の社会保障の展望～一億総活躍社会の実現を目指して～』

厚生労働省 厚生労働事務次官 二川 一男氏

【第 II 部】 (15:00～17:30)

■総会
議事案件

I. 社会福祉士養成教育にかかわる課題について

II. 平成28年度各委員会経過報告

- 1) 総務・企画委員会
- 2) 研究活動・教育向上委員会
- 3) 就職・学生募集委員会
- 4) 復興支援委員会

III. その他

1) 平成29年度鉄道弘済会奨学生について出席等 21 大学 32 名

○ 出席等 22 大学 35 名

2. 理事会の開催

1) 理事会（書面表決）

- 日 時 平成28年5月25日(水)
- 議 題 新規加盟校加入決定（広島国際大学）
- 出席等 日本福祉大学、日本社会事業大学、淑徳代諾、国際医療福祉大学、
関西福祉科学大学、文京学院大学

2) 平成28年度1回理事会

- 日 時 平成28年7月1日(金) 12:00~12:45
- 場 所 日本福祉大学 東海キャンパス
- 議 題 ・本日の議事及び進行について
・熊本学園大学へのお見舞い金支給について
・各委員会の課題について
- 出席等 6 大学 14 名

3) 平成28年度第2回理事会

- 日 時 平成28年11月18日(金) 13:30~15:30
- 場 所 名古屋マリOTTアソシアホテル22階ミーティングルーム
- 議 題 1. 社会福祉士養成に関わる課題について
 - 1) 社会福祉士養成教育の新たな発展を目指して
 - 2) 社会福祉士の活用に向けた新たなカリキュラムへの見直しと、
既資格取得者の学び直しに向けた検討の方向性について
 - 3) 「ソーシャルワーカー養成教育の改革・改善の課題と論点」
- 2. 1月総会について
- 3. 各委員会経過報告
- 4. その他
- 出席者等 4 大学 6 名

4) 平成28年度第3回理事会

- 日 時 平成29年1月21日(土) 13:00~14:00

- 場 所 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 6階「阿蘇」
- 議 題 I. 本日の総会議事について
II. 来年度委員会活動について
III. その他出席者等 4大学6名

3. 各委員会活動

1) 総務企画委員会

①事務局勉強会の実施

「福祉系大学における学生募集戦略について～福祉系学部離れの高校生をどう振り向かせるのか～」

- 日 時 平成 28 年 5 月 31 日(火)
- 場 所 日本福祉大学 名古屋キャンパス
- 内 容 〈講演会〉講師：株式会社 リクルートキャリア HELPMAN JAPAN グループ
ユニット長 坂田祐一氏
演題：「介護業界のブランディングと人材課題解決に取り組む
リクルートキャリア『HELPMAN JAPAN』の活動について」
〈会員校実例発表と意見交換会〉
テーマ：福祉系学部（学科）のブランディングのために取り組んでいること
- 出席等 14 大学 31 名

②運営概況調査と進路調査の実施

- 日 時 平成 28 年 6 月 3 日(金)
- 内 容 1. 平成 28 年度生入試の状況（福祉系学部・学科）〈1 年次入学・3 年次編入学〉
2. 平成 28 年度 在学生数の状況（福祉系学部・学科）
3. 平成 27 年度 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の状況（新卒者）
4. 平成 27 年度 進路状況
5. 平成 27 年度 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格者の進路状況
以上の調査結果を各会員校の情報共有化を図るため送付した。

③ソーシャルワーカーデー 2016【中央集会】の出席

- 日 時 平成 28 年 7 月 18 日(月)
- 場 所 大正大学礼拝堂
- 内 容 福祉系大学経営者協議会 会長として挨拶
■特別講演/13:15 マーシーの薬物リハビリ (田代まさし氏)
■シンポジウム/14:15 ソーシャルワークの楽しさ・こわさ・醍醐味
■特別報告/16:15 IASSW・IFSW・ICSW 合同世界会議 (6 月・韓国)
ソーシャルワーク・グローバル定義の日本における展開

④総務企画委員会主催 勉強会の実施

「『熊本学園モデル』から学ぶ～災害時における地域と大学」

- 日 時 平成 29 年 3 月 3 日(金) 13:00～17:00
- 場 所 熊本学園大学 14 号館 1411 教室
- 内 容 【ご挨拶】熊本学園大学 幸田 亮一学長

【講演 1】演 題：熊本地震と熊本学園大学の取り組みの経過

講 師：熊本学園大学 宮北 隆志社会福祉学部長

【講演 2】演 題：全国から注目された避難所運営について

講 師：熊本学園大学 社会福祉学部 黒木 邦弘准教授

【講演 3】演 題：「学生・教職員の安否確認とキャンパスの安全確保」

講 師：熊本学園大学 井上 博司総務課長

【キャンパス見学】

【情報交換会】

○ 出席者等 14 大学 31 名

⑤ “社会福祉学の魅力発信プロジェクト” 予備調査アンケートの実施

<1 回目>

実施時期 平成 28 年 12 月

実施先 関西福祉科学大学・日本福祉大学の附属高校の生徒

<2 回目>

実施時期 平成 29 年 2 月以降

実施先 依頼先 14 大学

回答校 5 大学 北星学園大学、淑徳大学、金城大学、中部学院大学、同朋大学

2) 研究活動・教育向上委員会

①社会福祉士国家試験問題に対する意見及び提案提出

○ 日 時 平成 28 年 8 月

○ 内 容 第 28 回社会福祉士国家試験に対する感想や、今後への意見・提案等を
会員校の皆様から寄せていただき、概要をまとめ、7 月 1 日総会にて報告。
報告後、試験センターへ意見および提案提出。

②社会福祉士国家試験問題に対する意見及び提案提出

○ 日 時 平成 29 年 1 月 30 日 (月)

○ 内 容 「第 29 回社会福祉士国家試験に対する不適切問題」に関する意見感想を
会員校の皆様から寄せていただいた。
不適切問題とは言えないとの結論に至った為、試験センターへ意見提出なし。

③障害のある学生の受け入れに関する研修・情報交換会の実施

○ 日 時 平成 29 年 3 月 9 日 (木) 13:00~16:00

○ 場 所 国際医療福祉大学大学院青山キャンパス A 教室

○ 内 容 テーマ説明

取り組み状況報告①長野大学

取り組み状況報告②日本福祉大学)

質疑応答及び出席者全体での情報・意見交換

○ 出席等 9 大学 21 名

3)就職・学生募集委員会

①募集広報担当者情報交換会の実施

- 日 時 平成 28 年 12 月 2 日(金) 13:30~16:50
- 場 所 淑徳大学 池袋サテライト・キャンパス
- 内 容 (講演会) 講師:株式会社リクルートマーケティングパートナーズ まなび事業本部
教育機関広報統括部 営業 1 部 部長飯島隆介氏
株式会社リクルートコミュニケーションズ 進学ソリューション
1 グループ シニアクリエイティブディレクター 酒井文也氏
演目:「他分野から考える今後の福祉系大学」
- 出席等 15 大学 27 名

4)復興支援委員会

①復興支援委員会の実施

- 日 時 平成 28 年 5 月 14 日(土) 16:00~17:55
- 場 所 文京学院大学 本郷キャンパス
- 議 題 【審議事項】
 - 1) 福祉系大学経営者協議会への活動報告について
 - 2) 復興支援委員会の継続実施について【報告事項・連絡事項】
 - 1) 「災害ソーシャルワークを考えるワークショップ in 南三陸」の実施報告
 - 2) 平成 28 年度復興支援委員会の活動について【その他(情報提供等)】
- 出席等 5 大学 9 名

- ②『災害ソーシャルワークの可能性を求めて(仮題)ー専門職の“卵”たちから見た災害ソーシャルワーカー』の作成の取組み

以上

災害時の役割など協議

福祉系大学経営者協議会 総会

参加者は過去最多

福祉系大学経営者協議会は、七月一日、日本福祉大学東海キャンパスにおいて今年度第一回の総会を開催した。このたびは、二一大学三名が出席し、二〇〇九年の設立以来最多の出席者となった。

開会にあたり丸山 悟 会長（日本福祉大学理事）より、一月の総会以降新たに一大学の加入によって二四大学となった旨が紹介がされた。総会に入り、まず、第

福祉系大学経営者協議会 平成28年度 第1回総会



会長の丸山日本福祉大学理事長(中央)

I部勉強会として「社会保障・税一体改革のこれまでとこれから」と題して、社会保障制度改革推進会議委員の山崎泰彦氏による講演が行われた。消費税一〇%の引き上げ

が再延期され、福祉課題への対応の遅れといった事態が進むことは、福祉系大学の学生募集・人材育成・輩出といった点にも、ますます厳しい影響を与えかねないという危機意識のもと、出席者は話に聞き入った。第II部では、昨年度の事業報告・決算、及び今年度事業計画・予算等の承認の他、これまで三つに分かれていた社会福祉養成校団体がひとつにまとまり、来年度より「日本ソーシャルワーク教育学校連盟」として新たに設立される経過報告、厚労省が昨年発表した「新福祉ビジョン」に対応した社会福祉教育の課題等

について報告がされた。また、会員校である熊本学園大学目黒純一理事長より、熊本地震発災直後から授業再開までの一連の対応状況について、報告がされた。とりわけ、同大学は避難所に指定されていなかったにもかかわらず、発災直後より地域住民を受け入れて、中でも高齢者や障害者など災害弱者と言われる方々に対し『福祉避難所』を立ち上げ、社会福祉学部の教員・学生を中心に二四時間体制で支援にあたられた活動内容は、災害時に果たすべき福祉系大学の地域貢献モデルとして学ぶことが多い、大変貴重な報告となった。その後第III部として懇親会が行われ、参加者間で活発に情報交換が行なわれた。

福祉系大学経営者協議会加盟24大学(平成28年7月現在)

- | | |
|----------|----------|
| 北星学園大学 | 金城大学 |
| 北海道医療大学 | 中部学院大学 |
| 東北福祉大学 | 同朋大学 |
| 国際医療福祉大学 | 日本福祉大学 |
| 群馬医療福祉大学 | 関西福祉科学大学 |
| 淑徳大学 | 大阪人間科学大学 |
| 文京学院大学 | 兵庫大学 |
| 日本社会事業大学 | 関西福祉大学 |
| ルーテル学院大学 | 広島国際大学 |
| 田園調布学園大学 | 徳山大学 |
| 長野大学 | 長崎国際大学 |
| 静岡福祉大学 | 熊本学園大学 |

総会を終え丸山会長は、「今回熊本学園大学が地域で果たされたことや、さらには東日本大震災における東北福祉大学の支援の取り組み等をふ

まえ、大規模災害に遭遇した時の福祉系大学の対応のあり方や、福祉系大学ならではの大学間連携の方向性等についても、本協会として具体化を図りたい。そういった取り組みを実施し、発信していくことによって、会員校である全国各地の福祉系大学が地域の核となり、福祉逆風の一層の進行を食い止め、将来に不安が漂うムードを打ち消していくことに繋がっていくと考える」と意気込みを語った。

福祉人材の養成などを協議

福経協が総会 二川厚労事務次官が講演

福祉系大学経営者協議会(丸山 悟会長・日本福祉大学理事長)は、一月二十一日、東京都内で、平成二十八年度第二回総会を開催した。現在全国二四大学が加盟。地域共生社会や地域包括ケアを支える福祉人材の重要性はますます高まっている中で、依然として低い高校生の福祉志向の現状等をふまえて、今後の福祉専門職の資格のあり方や養成教育の課題について、活発に議論が行われた。

総会では第一部で、厚生労働省の二川一男事務次官を迎えて、潮谷義子副会長(日本社会事業大 学理事長)のコーディネートのもと、勉強会を開いた。「今後の社会保障の展望」「億総活躍社会の実現を目指して」と題しての講演では、人口構造の変化や社会保障関係費の将来推計をふまえて、現在推進されている「ニッポン一億総活躍プラン(平成二十八年六月二日閣議決定)」の実現

に向けて最新の取り組みを説明した。続いて、地域共生社会の実現と、地域包括ケアシステムの構築の要となる医療・福祉人材の活用についても説明、医療・福祉人材養成課程の見直しの課題などにも触れた。

第二部では、「社会福祉士養成教育にかかわる課題について」として、白澤政和日本社会福祉士養成校協会理事(桜美林大学大学院教授)より報告があった。高校生のソ



シャルワーク離れの問題や学校・司法領域でのソーシャルワーカーの採用など職域拡大の現状、新たに求められる社会福祉士の能力等をふまえて、今後の養成教育の改革方向を提示した。

「地域包括ケアシステム」の中で多職種連携教育の重要性や、社会福祉士資格と隣接する資格との課程の共通化について、また、司法や災害、スクールソーシャルワーカーなど広がる領域の中での社会福祉士のコンピテンシーの明確化の課題等、各会員校の現状も交え、活発に意見交換をおこなった。

続いて、同協議会の各委員会での取り組みを議論した。特に重要である学生募集課題について、福祉系学部希望者の裾野を広げる取り組みが提案された。社会福祉士の魅力を発信するプロジェクトを立ち上げ、今後会員校の付属高等学校においてアンケートを行い、マーケット分析を実施。それを基に会員校の学生募集に資するコンテンツの開発に取り組みすることを確認した。

また、災害時に福祉系大学が果たす役割について学ぶため熊本学園大学で開催される勉強会、障害学生への学習・生活支援について学び合う学習会など、今後の予定も紹介した。

最後に、長谷川匡俊副会長(大乘淑徳学園理事長)が「今日は、過去最多の出席者のもと、二川事務次官のマクロ的なお話しと、具体的に養成課程をどうしていくのかといった白澤先生の提起を受けて白熱した総会となった。卒業していく学生達が、在学中に社会福祉学やソーシャルワークを学んだと自信と誇りを持

ち、他の専門職と伍して十分に渡り合える専門性を身に付けて活躍できるように、本協議会としても一致団結して諸問題の解決に立ち向かっていきたい」と締めくくった。

総会を終えて、丸山会長は「二川事務次官にお越しいただき、福祉系大学の理事長・学長が総括的に押さえておくべき社会保障・社会福祉の政策動向と今後の福祉人材養

成課題について理解、共有できたことは、本協議会として大きな収穫となった。これを糧にして、福祉系大学における学生募集戦略や、福祉系大学だからこそできる災害時の取り組みなど、各事業を推進し、幅広い観点から福祉系大学の優位性を発信する取り組みを進めていきたい」と語った。

- 加盟校(平成二十九年二月現在) 北海道医療大/東北福祉大/国際医療福祉大/群馬医療福祉大/文京学院大/田園調布学園大/日本社会事業大/ルーテル学院大/淑徳大/金城大/長野大/中部学院大/静岡福祉大/同朋大/日本福祉大/関西福祉科学大/関西福祉大/大阪人間科学大/兵庫大/広島国際大/徳山大/長崎国際大/熊本学園大

教育学術新聞掲載
平成29年2月22日(水)